

夢あるまち 豊かなまち 元気なまち

住みたいまち にかほ



当局側の説明を熱心に聞き入る市民の皆さん

■高速道路について、現在仁賀保・金浦間は、順調に工事が行われているようですが、金浦・象潟間の状況はどうなっていますか。

●高速道路関係については、国道7号に暫定接続となつて、前寺地区から仁賀保IC間の平成21年度の当初予算是、7億円となりており、国道7号の付替改良工事と高速道本線の用地買収、改良工事、それと仁賀保IC近辺の埋蔵文化財調査の実施等が主な内容となっています。また、仁賀保ICから象潟IC間の平成21年度の当初予算については、50億円措置されます。

仁賀保、金浦間の事業概要としては、用地買収、改良工事、橋の工事など、引き続き実施される予定となっています。金浦ICから象潟IC間については、用地の調査および一部用地買収をするという予定になつています。現在、所有者の皆さんには現地で確認等を含めて説明会を実施しているようですが、開通見通しについては、いずれも未定となっています。

■消防本部が（広域化）合併するという話を聞いています。

由利本荘市と合併する訳ですが、そうなつた場合、消防団を縮小するということはあるのでしょうか。私も消防団に籍を置いていますが、団員も減少の一途を辿り、どのようになっていくのか気掛かりです。消防本部の広域合併後、消防団はどのようになるのでしょうか。

●消防署が広域化になつても、消防団は、市の直轄となり、今度は市民部が受け持つことになります。消防団の皆さんには、日ごろから地域の安心安全を確保するために一生懸命頑張っています。ただし、このような社

会情勢、少子化・核家族化で団員が少くなっているということは、大変残念であるし、その分、団員の皆さんに難儀をかけているところですが、これからも安心・安全なまちづくりのためにも、消防団は欠かせない役割を担つています。引き続きよろしくお願ひします。

■現在の分庁方式は、異合が悪いということで、仁賀保庁舎、金浦庁舎を縮小して象潟庁舎に集約するという話を聞きました

●現在、にかほ市の自主財源は、全体の29%です。残り7割は国や県などに依存する財源です。これら地方交付税を中心とした国からの財源は、年々削減されてきています。このような状況で、これまで実施してきたサービスの維持あるいは、充実していくためには、どうしても行政経費を縮減していくしかありません。合併協定書では、10年間で66人の職員を削減するといふことになつています。これまで、29人の削減を実施し、このペースでいけば、100人近く削減することになります。そうすると、組織もだいぶ小さくな

説明会を終えて

皆さんからの貴重なご意見は、これから市政に反映していくよう努めています。今後とも市民を主体とした協働のまちづくりの推進のため、なお一層のご協力と積極的な行政参加をお願いします。

■小出小学校の統合について、耳にすることがあります。

学校の統合というのは、本当に寂しいことだと思いますし、過疎に沿車がかかるのではないとかと、皆心配しています。

●学校がだんだん小規模になっていくと先生の配置も少なくなつて、いい影響を与えることがないのではないかということで、学校教育将来構想について、市民の皆さんによる策定委員会を作り検討していただきました。その中で、小出小学校と院内小学校は、平成27年度をめどに、また、上浜小学校、上郷小学校、象潟小学校についても、平成30年度をめどにそれぞれ統合を検討するという提言となつています。ただし、これは市全体について統廃合を含めた学校のあり方の提言書が出されたもので、まだ具体的に決まつたことではありません。

ご承知のとおり、現在、仁賀保統合中学校を建設中ですが、平成22年度から釜ヶ台中学校が統合されます。釜ヶ台小学校についても院内小学校と統合することとして話し合い、反対はな

■防災放送設備において、スピーカーが数箇所に設置されていますが、その周辶の世帯の方々は、十分聞き取れると思いますが、私どもの場合、何かしら放送していることは分かりますが、家の中に居る關係もあるでしょうが、その内容はほとんど分かりません。そこでお願ひですが、市で調査のうえ、場合によって

各地区の要望等を市民と当局が一緒にになって話し合われました。

かつたようです。院内小学校と小出小学校については、ある程度方向性が決まるまでは、学校の耐震診断を実施し、その結果によつては、今年中にも耐震補強を実施したいと思つています。そして、将来的な統合についても、よろしくお願ひします。

●平成21年度と22年度で、市全体の防災無線の整備を行います。この整備に当たつては、地域ごとにすべての電波の届き具合や声の聞き取り具合などのさまざま調査を全市的に行つて整備をすることにしています。

ただし、100%完全に聞こえるようになるかとなれば、気象条件などさまざまな条件によって変わつてきますので、それは約束できませんが、解消には繋がると思いますし、今まで以上に確実に良くなりますので、そのまま調査を全市的に行つて整備をすることにしています。

●平成21年度と22年度で、市全体の防災無線の整備を行います。この整備に当たつては、地域ごとにすべての電波の届き具合や声の聞き取り具合などのさまざま調査を全市的に行つて整備をすることにしています。

ただし、臨時財政対策債につけて変わつてきますので、それが約束できませんが、解消には繋がると思いますし、今まで以上に確実に良くなりますので、そのまま調査を全市的に行つて整備をすることにしています。

ただし、臨時財政対策債については、後で元利償還分を地方交付税として分割して市に交付するという制度となつていています。

●海岸の漂流物・ゴミ対策などについて、市の考え方をお聞かせください。

●市では、市民や自治会の全面的な協力により、実施している全市クリーンアップ作戦をはじめ、地域の町内会や各種団体、職域などの協力による清掃によるところですが、漂着するゴミの量に作業が追いつかないというのが、実際のところです。

今後も、市民の皆さんや自治会、各種ボランティア団体の皆さんとのご理解をいただきながら、地道に清掃作業を行つていく以外には、対策や方法はないと思つています。

●海岸の漂流物・ゴミ対策などについて、市の考え方をお聞かせください。

●市では、市民や自治会の全面的な協力により、実施している全市クリーンアップ作戦をはじめ、地域の町内会や各種団体、職域などの協力による清掃によるところですが、漂着するゴミの量に作業が追いつかないというのが、実際のところです。

今後も、市民の皆さんや自治会、各種ボランティア団体の皆さんとのご理解をいただきながら、地道に清掃作業を行つていく以外には、対策や方法はないと思つています。